

AI・AIネットワークと消費者

全国地域婦人団体連絡協議会
事務局長 長田三紀

AIって何？どんな仕組み？きっとすごいものよね。

- AIネットワークの利活用が、これからの世界にとって不可欠になることは、おそらく多くの人が漠然と認識している。
- でも、AIって何？AIネットワークって、どんな仕組みと聞かれてすぐに答えられる人は、まだ少ない。



AIへの不安もいっぱい

- AIの判断は絶対に間違えないの？
- AIが搭載されている製品に不具合が起きたときの責任は誰が？
- AIが判断を間違えて何か被害があったら、誰が責任をとってくれるの？
- AIは暴走しないの？
- 私たちの情報を全部盗られてしまうのでは？
- でも、これらの不安は詳細な根拠があつてのものというより、漠然とした不安に留まっているのでは。



現状はどんどん進んでいる？



- メディアには、「何もかもがAIで解決」してくれるかのような情報が満載。特に「安心」「安全」というワードが溢れている。
- これでは、AIやAIネットワークのリスクは、消費者に伝わらないのでは。
- 良いことばかりの情報が先行することは問題では。
- ディープラーニングにより一つ一つのAIが違う進化を遂げていった先の世界についてのイメージが持ちにくい。

現段階で気になっていることあれこれ ①

- 女子高生ロボット「りんな」に代表される対話・サポート系のAI機能を持ったコンテンツと人間の間で生まれる倫理的問題は？
- AIによる職人の技術の保存などが進むと、かえって職人が不要になるなどということは起こらないのか？
- AIの情報収集と判断により行われるプロファイリングにバイアスはかからないのか、人はそれに基づいたサジェスチョンに影響されないのか。
- 何もかもがネットワークにつながることで、通信回線が圧迫されるということはないのか？

現段階で気になっていることあれこれ ②

- AIのセキュリティ、プライバシー保護、使用者への取扱い説明や製造物責任の責任分解についてなど、制度的担保やルール作成がないまま導入が進んでいること。
- AIの導入が進めば、使用を望まない人にもその選択権は保証されない世の中になるのではないか。
- 情報弱者がAIの支援により、様々なサービスが利用できるようになる可能性が高いと思われるが、AI任せとなることに何かリスクはないか。人として、危機管理能力が低下するのではないか。
- そもそもそこにAIが使われているかどうか判断できるのか。

消費者として望むこと



- AIやAIネットワークの夢だけを語らないで
- 機器や情報の利用が苦手な人への対応を大切に
- リスクはきちんとわかりやすく明示を
- 特に収集した情報に関しては、目的、方法等を含め、必ず明示を
- リスクを回避するためにどうすればよいかをわかりやすく明示を
- これからのAI及びAIネットワークが人類のためにより発展していくためには、まず一番初めの出会いにおいて、安心して利用を決断できるよう、丁寧な情報提供を。
- 常に利用者の声に耳を傾けて。